

第12回スポーツ仲裁シンポジウム

イントロダクション講演

JSAAの概要と 過去の代表選手選考事案について

JSAA理事 小幡 純子

1 JSAAの概要

1 JSAAの概要

(1) 役割・実施事業

— 役割 —

スポーツ紛争を解決する**裁判外**紛争解決機関

— 実施事業 —

- ① **仲裁調停**事業（スポーツ仲裁・調停、ドーピング仲裁）
- ② **調査研究**事業（海外派遣研修事業）
- ③ **広報普及**事業（理解増進事業、シンポジウム）

1 JSAAの概要

(2) 仲裁調停事業の取扱事案数

※スポーツ仲裁規則のスポーツ仲裁事案に限る

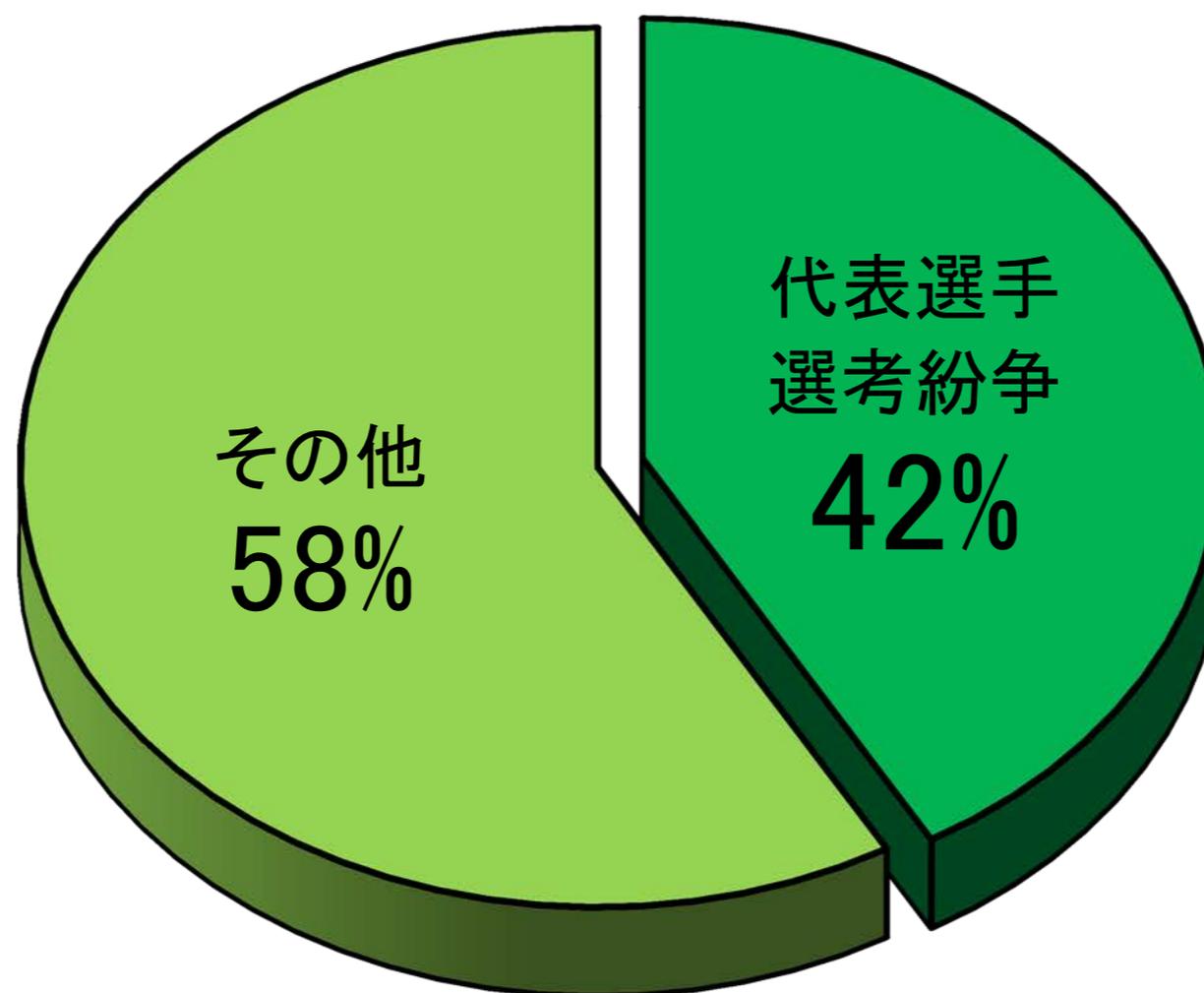
年度	申立受理 件数	仲裁 判断数	申立取下 事案数	不応諾 事案数	問合せ	取扱事案 総数
2003	3	3	0	2		12
2004	2	2	0	1		12
2005	2	1	1	0		15
2006	1	1	0	0		11
2007	0	0	0	2	7	20
2008	1	1	0	0	6	31
2009	2	2	0	0	8	33
2010	5	3	2	0	4	27
2011	3	3	0	2	19	42
2012	4	3	1	1	38	83
2013	24	8	16	3	43	114
2014	6	3	2	3	40	103
2015	7	6	1	1	24	72
合計	60	36	23	15	189	575

2 過去の代表選手選考紛争の分析

2 過去の代表選手選考紛争の分析

(1) 代表選手選考紛争の事案数

JSAAで仲裁判断に至ったケース36件中
代表選手選考紛争は**15**件(42%)



2 過去の代表選手選考紛争の分析

(2) 代表選手選考紛争の特徴

1 オリンピック・パラリンピック関連事案

- ・15件中**5**件(33%)がオリンピック・パラリンピック関連

2 代表選手選考基準が争点となる

- ・選考基準が非公開だったケース : **2**件 (13%)
- ・選考基準が公開されていたケース : **13**件 (87%)

2 過去の代表選手選考紛争の分析

(2) 代表選手選考紛争の特徴

3 紛争解決の迅速性

- ・ 緊急仲裁案件 15件中**12**件(80%)
- ・ 申立てから仲裁判断まで 平均**25**日間

4 紛争となる競技の多様性

- ・ 15件中**13**種類の競技

2 過去の代表選手選考紛争の分析

(3) 競技団体の決定が取り消された事例

- 競技団体の決定が取り消される場合
 - A. 処分・決定の内容に関するもの
 - a) 処分・決定の根拠となる規則自体が法秩序に反するか又は著しく合理性を欠く場合
 - b) 処分・決定が自ら制定した規則に違反している場合
 - c) 処分・決定が規則には違反していないものの、著しく合理性を欠いている場合
 - B. 処分・決定に至る手続に関するもの
 - d) 処分・決定に至る手続に瑕疵がある場合
- 決定が取り消されたケースは、15件中3件

2 過去の代表選手選考紛争の分析

(3) 競技団体の決定が取り消された事例

① JSAA-AP-2011-003号仲裁事案

- ロンドンオリンピック・アジア大陸予選の代表選手決定の取消しと選考のやり直しを求めた事案

② JSAA-AP-2013-005号仲裁事案

- アジア・オセアニア選手権大会における代表選手決定の取消しが求められた事案

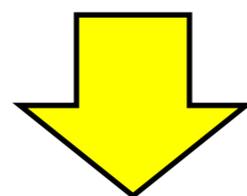
③ JSAA-AP-2015-003号仲裁事案

- U23代表選手選考決定に関する競技団体の裁定委員会の決定の取消しが求められた事案

2 過去の代表選手選考紛争の分析

(4) 代表選手選考紛争の原因

- 代表選手選考基準が**公開している場合でも**代表選手選考紛争が発生している。
- 代表選手選考基準の**適用**が問題になっている。



代表選手選考紛争を予防するためには、**明確な代表選手選考基準**の作成が求められる

3 終わりに

3 終わりに

- 明確な代表選手選考基準がないことの影響
 1. 代表選手選考**紛争の発生**
 2. **競技力の向上**へのマイナスの影響
- 2016年リオ、**2020年東京**に向けて、代表選手選考**紛争の予防**が求められる。